

文部科学省 戦略的大学連携支援事業

香川総合医療教育研究コンソーシアム ニュースレター 第2号

香川総合医療教育研究コンソーシアム 第1回フォーラムを開催



文部科学省大学改革推進室長
今泉柔剛氏による基調講演

平成21年2月5日（木）、全日空ホテルクレメント高松にて「香川総合医療教育研究コンソーシアム」の第1回フォーラムを開催しました。

当日は130名を越える方々にご参加いただき大盛況となりました。

第一部では、まず三大学の各学長から挨拶があり、次に文部科学省・大学改革推進室長の今泉柔剛氏から「地域における大学間の戦略的な取組について」の基調講演をいただきました。

次に、本事業の推進委員長である香川大学医学部の上田夏生副医学部長が事業の概要を説明し、続いて本事業の代表校である徳島文理大学から桐野豊学長が取組のひとつである医療情報共有システム「病院－調剤薬局間双方向情報網（電子処方箋）」を説明しました。

さらに、各方面からの期待として、香川県医師会、香川県薬剤師会、香川県病院薬剤師会、香川県看護協会、香川県臨床検査技師会、香川県臨床工学技士会ならびに日本私立大学協会からご挨拶をいただきました。

最後に、上野哲夫事業総括が本事業を完遂させるための決意を述べました。



香川大学医学部 上田夏生副医学部長による
事業概要説明



第二部 交流会

第二部の交流会は和やかな雰囲気の中で行われました。まず、徳島文理大学 村崎正人理事長の挨拶から始まり、大山茂樹さぬき市長、石原収三木町長より激励のお言葉をいただきました。

本フォーラムによって関係団体や自治体に本事業の内容をご理解していただけたと認識しています。今後も多くの方々と意見交換の場を設け三大学連携事業を充実していきたいと考えています。

事業報告

チーム医療を考える三大学学生の集い

平成21年6月6日(土)「チーム医療を考える三大学学生の集い」を徳島文理大学香川キャンパスで開催しました。香川大学医学部医学科・看護学科、徳島文理大学香川薬学部薬学科・薬科学科・理工学部臨床工学科、香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科・臨床検査学科から1年生と2年生計125名が参加しました。

第1部は村崎サイメモリアルホールにおいて香川大学医学部脳神経外科学 田宮隆教授による特別講義「ある脳神経外科医の一日」が行われました。



各大学の教員と学生達によるディスカッション

第2部は各大学学生代表の企画の下、体育館において三大学混成10チームによるバレーボール大会が行われました。

終了後、懇親会において成績発表・賞品贈呈があり、会食をしながらの写真撮影や歓談など学生間の交流が活発に行われました。



懇親会での成績発表



香川大学医学部
田宮隆教授による特別講義

続いて桐野豊徳島文理大学長をはじめとする各大学各学部・学科の教員9名と学生達によるディスカッションが行われました。

～学生の感想～

自分の学んでいる薬学以外の医療の知識に触れることができた。今回、一緒に交流した香川大学医学部、香川県立保健医療大学の人たちと、将来チーム医療で活躍できたら嬉しいと思う。今後もこのような交流の場が欲しい。
(徳島文理大学 香川薬学部薬学科2年生)

各々別の大学に通う学生達が一丸となって一つのことに取り組むという、とても貴重な経験でした。香川の将来の医療を担う世代として、全ての医療者が協力し合う大切さを感じ、今回のようなチームプレーを活かしたいと思います。
(香川大学 医学部看護学科2年生)

初めての三大学の交流で、最初は戸惑いや不安があったのですが、皆譲り合いや協力の気持ちで充実した時間を持てたと思います。今回を機にもっと交流する場を増やして欲しいと思いました。
(香川県立保健医療大学 保健医療学部看護学科2年生)

香川大学 医学部医学科2年生が、徳島文理大学 香川薬学部医療薬学講座の特別講義「保健指導・カウンセリング・チーム医療の基礎」を受講



徳島文理大学香川薬学部
二宮昌樹教授による特別講義

平成21年6月24日（水）徳島文理大学香川キャンパスにて、徳島文理大学香川薬学部医療薬学講座の二宮昌樹教授の特別講義「チーム医療における薬剤師の役割」が行われました。香川大学医学部医学科2年生86名が「保健指導・カウンセリング・チーム医療の基礎」の授業として受講しました。

その後、4班に分かれて徳島文理大学香川薬学部の模擬薬局等の実習施設、中央機器室、理工学部第2工学研究棟の模擬手術室の見学を行いました。



模擬手術室の見学

最後に、徳島文理大学香川薬学部薬学科生と香川大学医学部医学科生のエールの交換、桐野豊徳島文理大学長の挨拶がありました。

また、今回の特別講義は、遠隔講義システムにより香川大学医学部及び香川県立保健医療大学に配信されました。

徳島文理大学 香川薬学部3年生が、香川大学 医学部で研究活動に参加

香川大学医学部 徳田雅明教授より
「3人とも熱心に研究してくれました。
今も科学的な探求心を持って続けてくれています。」



課題実習終了時セミナーにて

昨年度から、香川大学医学部細胞情報生理学講座の「課題実習」を履修させていただき、私たちの卒業研究を指導していただいています。

地域医療を担っていく上で、学校を超えて様々なことを学ぶことは有意義なことだと思います。

地域に密着したチーム医療が求められる中、地元で他分野の勉強ができることは、とても恵まれていると思います。

将来、出来れば地元で医療関係の仕事に就き、今回の経験や出会いを生かしていきたいと考えています。

（徳島文理大学 香川薬学部薬学科4年生 青野 望・野口 知里・山田 佳奈）

生理学会地方会に参加
「来年の発表を目指そう」



香川県立保健医療大学 保健医療学部臨床検査学科4年生が、香川大学 医学部の臨床病理検討会の授業に参加



臨床病理検討会の様子

平成21年4月27日（月）香川県立保健医療大学保健医療学部臨床検査学科4年生11名が、香川大学医学部の臨床病理検討会（CPC）の授業に参加しました。

CPCとは、病理解剖された症例について臨床医と病理医の合同カンファレンスで医師の卒後教育や医学教育、医学の発展に寄与するものです。

臨床検査学科の学生にとっては、病因や死因の特定、治療内容を討論し検証していく過程をみることは初めての経験です。臨床検査データの重要性を再認識するよい機会になりました。

今後の予定

高校生のサイエンスキャンプ

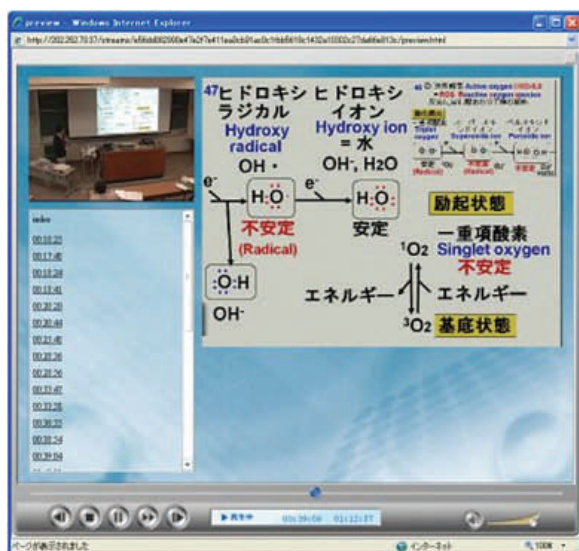
香川の医療系三大学で学ぶ生命科学の最前線 (Bio2009 in Kagawa)

最先端の生命科学，医療技術の進歩に興味を抱いている高校生はとても多いと考えています。そこで，徳島文理大学・香川薬学部・理工学部，香川大学・医学部ならびに香川県立保健医療大学の「香川県の医療系三大学」で得ている最先端の研究成果を高校生に還元するアウトリーチ活動の一環として，地元高校生に対するサイエンスキャンプを企画しました。

このサイエンスキャンプを通して，高校生がさらに生命科学への興味を抱き，科学および医療技術への関心を深めてくれることを，強く期待しています。各回とも，生命科学の最前線の研究テーマに関連した講義と実習を行います。

- 8月 2日 (日) 香川大学 医学部 「希少糖を学ぼう！」
- 8月16日 (日) 香川県立保健医療大学 保健医療学部臨床検査学科
「ヒトの体を見てみよう！」
- 8月30日 (日) 徳島文理大学 理工学部・香川薬学部
- ①「模擬手術室で医療機器を操作してみよう！」
 - ②「脳・神経研究の面白さを満喫しよう！」

講義自動収録システムの導入について



講義自動収録システム画面

今年度、徳島文理大学香川キャンパスに講義自動収録システムを導入します。このシステムは講義を収録しておき、学生さんが学内の端末からいつでも自由に視聴できるようにするものです。

香川大学医学部では既に導入・活用されており、香川県立保健医療大学にも来年度の導入が予定されています。

これにより、三大学の学生さんに有用な講義が、それぞれの大学でも視聴できることを目指しています。

戦略的大学連携支援事業

香川総合医療教育研究コンソーシアム

(徳島文理大学・香川大学医学部・香川県立保健医療大学)

<http://kp.bunri-u.ac.jp/renkei/>